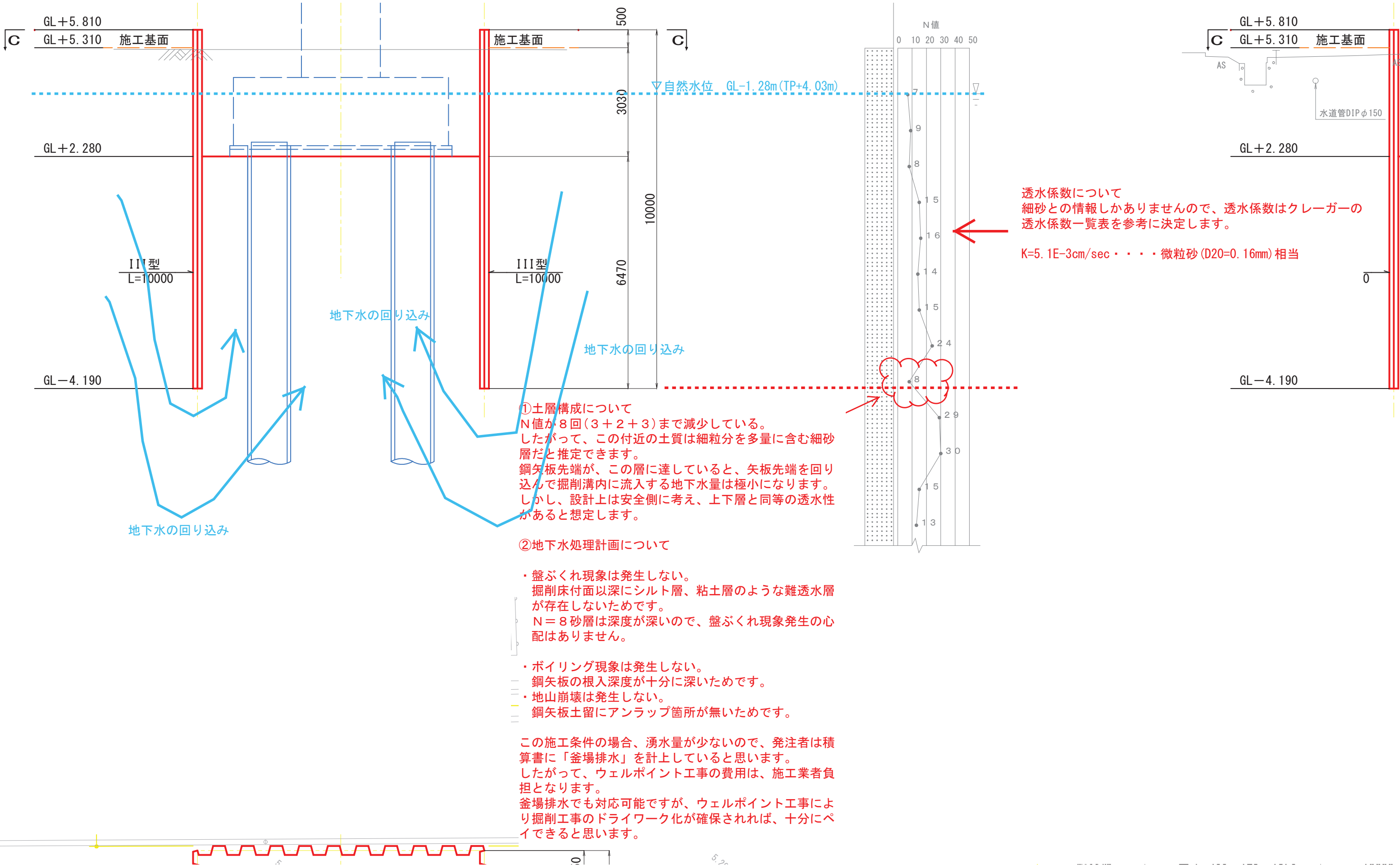


ワンポイントアドバイス：水替計画の相談に対する回答書です。  
送付されてきた仮設計画図にコメントを書き込んだものです。



透水係数について  
細砂との情報しかありませんので、透水係数はクレーガ-の  
透水係数一覧表を参考に決定します。  
K=5.1E-3cm/sec・・・微粒砂(D20=0.16mm)相当

①土層構成について  
N値が8回(3+2+3)まで減少している。  
したがって、この付近の土質は細粒分を多量に含む細砂  
層だと推定できます。  
鋼矢板先端が、この層に達していると、矢板先端を回り  
込んで掘削溝内に流入する地下水量は極小になります。  
しかし、設計上は安全側に考え、上下層と同等の透水性  
があると想定します。

- ②地下水処理計画について
- ・盤ぶくれ現象は発生しない。  
掘削床付面以深にシルト層、粘土層のような難透水層  
が存在しないためです。  
N=8砂層は深度が深いので、盤ぶくれ現象発生心の  
心配はありません。
  - ・ボイリング現象は発生しない。  
鋼矢板の根入深度が十分に深いためです。
  - ・地山崩壊は発生しない。  
鋼矢板土留にアンラップ箇所が無いためです。

この施工条件の場合、湧水量が少ないので、発注者は積  
算書に「釜場排水」を計上していると思います。  
したがって、ウェルポイント工事の費用は、施工業者負  
担となります。  
釜場排水でも対応可能ですが、ウェルポイント工事によ  
り掘削工事のドライワーク化が確保できれば、十分にペ  
イできると思います。